

「顔の見える連携を目指す会」を始めました！

沼津市立病院では、近隣の「訪問看護ステーション」「居宅介護支援事業所」「地域包括支援センター」等の医療・介護職員の方々と交流会を開始しました。

多職種が交流し互いの役割の理解を深め、支え合う、つながりあう社会づくり、保健・医療・介護・福祉に対する知識・意識の向上をめざし、円滑な連携体制を構築したいと思います。

第1回 訪問看護ステーション



講師：櫻井悦子氏



看護部長 挨拶



平成30年2月10日（土）に、訪問看護師21名（13事業所）と当院看護師長・主任36名で、交流会を開催しました。

聖隷在宅事業部次長の櫻井悦子氏を講師に招き「訪問看護の現状や地域の課題」をテーマに講演していただき、看看連携の重要性や当地域の現状を知ることができました。また、バイタリティーにあふれた内容に、看護の醍醐味を感じられ勇気をいただきました。その後グループに分かれ情報交換を行いました。活発な意見交換がなされ、貴重なご意見をいただき、訪問看護・急性期病院のお互いの役割への理解が深まり、今後の方向性を確認できた有意義な会になりました。

これからも患者さまに安心して過ごしていただけるよう、質の高い看看連携をおこないたいと思います。



第2回 介護支援専門員(ケアマネージャー)



司会：福長副院長



平成30年2月14日(水)に、介護支援専門員等48名(近隣20事業所)と、当院47名(看護師・医療ソーシャルワーカー)で交流会を開催しました。

福長副院長(医療連携室長)の司会により、当院職員よりアンケート結果の報告、昨年10月より開設した入院センターに関する説明、病院体制の説明をしました。交流会では、お互いに抱えていた疑問や要望を伝え、どのようにしたら患者さんが不安なく入退院できるのかを一緒に考えることができ、有意義な会となりました。今後の連携がさらにスムーズにできる関係作りができました。

今後は、事例を通して、実践者レベルで交流会を行い、地域包括ケアのネットワーク強化を図りたいと思います。

ご協力・ご指導いただきましたこと、心より深謝申し上げます。
今後も、交流会を計画しておりますので、ぜひご出席下さい！

